

男女逆転シンデレラ

登場人物

ナレ：ナレーション

シン：シンデレラ

兄：シンデレラの兄

魔女：シンデレラに魔法をかける魔女

姫：お姫さま（本家シンデレラの王子）

○シーンー【オープニング】

ナレ：「むかしむかしあるところに、シンデレラという一人の少年がいました。シンデレラはいつも兄たちに家事を押し付けられ、おもちやにされていました」

兄：「おい、何やってるんだ。雑巾はケツを使って拭けといつも言っているだろう」

シン：「わ、わかりました」

（≡字開脚で、お尻を使って拭き掃除）

兄：「おい、シンデレラ。俺たちは城の舞踏会に行ってくるから、帰ってくるまでに掃除を終わらせておけよ」

ナレ：「そう言って兄たちは仕事をすべてシンデレラに押し付け、舞踏会へといっせまいます」

シン：「はあ、僕も舞踏会に行きたかったなあ」

ナレ：「すると突然、シンデレラの目の前に魔女が現れます」

（♫キラキラキラ）

魔女：「こんにちは。何かお困りかい？」

シン：「だ、誰ですか？」

魔女：「私は魔女。君の願いを叶えるために来たんだよ。舞踏会に行きたいんだろう。だったら、ビビデバビデブー」

（♫キラキラキラ）

（ネクタイとチンポにリボンをつける）

ナレ：「魔女がシンデレラに魔法をかけると、ネクタイとチンポにリボンが結ばれていました」

シン：「わあ、すごくきれいな衣装」

魔女：「これなら舞踏会にも行けるだろう」

シン：「ありがとうございます」

魔女：「いいかいシンデレラ。この魔法は常にガニ股でいないといけないんだ。ガニ股をやめると魔法が解けてしまう。それと、魔法の効果時間は12時までよ。それまで

には帰ってきなさい」

シン：「わかりました。それでは行ってきます」

ナレ：「そう言ってシンデレラは、ガニ股のまま走ってお城へと向かいました」

(上手へガニ股で走る)

暗転

○シーン②【舞踏会】

(上手からガニ股で登場)

ナレ：「シンデレラがお城に到着すると、すでに舞踏会は始まっており、皆がハイグレダンスを踊っています。そしてシンデレラも混ざってハイグレダンスを踊り始めました」

(ハイグレダンスを踊る)

ナレ：「シンデレラのひとときわ無様なハイグレダンスが姫の目に留まり、姫がシンデレラに駆け寄ってきます」

姫：「美しきハイグレダンスを踊る人、私と踊って頂けますか？」

シン：「ぜ、ぜひ喜んで」

ナレ：「シンデレラと姫は踊り始めました」

(ガニ股で踊る)

(SE: 鐘の鳴る音)

シン：「あ、もう帰らないと」

姫：「ま、待ってください」

ナレ：「シンデレラはチンポにつけていたリボンを落としたことにも気づかず、走って帰ってしまいました」

(リボンを落としながら、走り去る)

暗転

○シーン③【シンデレラ探し】

ナレ：「翌日、シンデレラは元の生活に戻っていました」

(㊦字開脚で、お尻を使って拭き掃除)

ナレ：「姫は昨晚、一緒に踊った少年を忘れられず、チンポにつけていたリボンを手掛かりに町中を探しています」

(SE: ノックする音)

姫：「実はある男性を探しているのですが、この家にいる男性を全員並べてくださりませんか？」

ナレ：「姫の要望によって、兄二人とシンデレラはガニ股で姫の前に並ばれます」

（ガニ股脇見せのポーズ）

ナレ：「はじめは長男のチンポにリボンを付けます」

姫：「チンポが太くて入りませんね。彼のチンポはもっと細くてかわいらしかったですか
ら」

ナレ：「すると次は次男のチンポにリボンを付けます」

姫：「太さは入りますが、カリが大きすぎますね。彼は走っただけでリボンが抜けてしま
うほど小さなカリをしていました」

ナレ：「最後にシンデレラのチンポにリボンを付けます」

姫：「太さもカリの大きさもぴったり。あなたが昨日の方だったのですね」

シン：「はい」

姫：「私と結婚して頂けませんか？」

シン：「喜んで」

（射精する）

ナレ：「シンデレラは姫の求婚に射精してしまうほど喜びました。そして二人は幸せに暮
らしましたとさ」